

アサカ宇宙

2026



アサガオプロジェクト

～宇宙アサガオを栽培してみよう！～

市内の公共施設や協力いただける市民の方に宇宙アサガオを育てていただき、その種を未来ある朝霞のこどもたちに引継いでいく、市制60周年を花いっぱいに迎えていくためのプロジェクトです。

宇宙に思いをはせながら、アサガオづくりに挑戦してみましょう。

開花を楽しんだり、「みどりのカーテン」を作ったりしながら、地球環境問題についても考えてみましょう。

宇宙アサガオとは・・・

宇宙アサガオとは、2010年に宇宙飛行士の山崎直子さんと共にスペースシャトルで宇宙を旅したアサガオの種、またはその子孫のことで、放射線や無重力環境が植物に与える影響を調べるため宇宙へ飛び立ち、帰還後は生命の神秘を伝える教育プロジェクトとして、全国の学校などで大切に育てられています。

@ アサガオを栽培してくれる方を募集します！

6月16日(火)から、下記施設窓口において、宇宙アサガオの種を配布します。立派に花を咲かせて、秋には種を回収してください。

種の配布場所：①朝霞市役所環境推進課 ②朝霞市リサイクルプラザ

※一部、公共施設においても取り組んでいます。

※種がなくなり次第、配布は終了します。

※1袋に入っている種は10粒程度となります。

※1家族につき1袋の配布です。

先着
30袋



@ 採取した種の収集方法

秋になり涼しくなると種の入ったさやができます。さやが裂けてこぼれる前に種を採取してください。採取した種は、翌年、こどもたちに育てていただくために学校等へ託します。

採取した種は、**10月30日(金)まで**に下記のうちどちらかの窓口にお持ちください

種の回収場所：①朝霞市役所環境推進課 ②朝霞市リサイクルプラザ

このプロジェクトは、ゼロカーボン39（サンキュー）アクションのアクション31：

植物で日陰をつくろうに該当する取組です。

問い合わせ

朝霞市役所環境推進課

TEL 048-463-1504

アクション
31

緩和 適応

植物で日陰をつくろう

取組内容 ゴーヤなどのみどりのカーテンや庭木を育てて日差しを遮る

メリット 室内が涼しくなり、収穫した野菜を美味しく食べられる

期待される効果 冷房のための電気代が節約できる

アサガオの栽培方法（ほんの一例です）

- 準備：肥料（化学肥料等）を施して、花壇やプランターの土づくりをします。 **○種まきの時期：5月～6月**
- 種まき準備：一晩水につけたり、種に傷をつけてから種まきすると芽が出やすいです。 **今回配布した種は、あらかじめ傷をつけてあります。**
- 種まき：3 cm程の深さに種まきをします。
- 水やり：土が乾かないように、日中気温が上がる前に水やりをします。
- 発芽して、つるが伸び始めたら、1週間おきに肥料を与えます。
- 種の採取：花が咲いてしぼんだ後、くきに茶色い丸い実ができたなら、中に種が入っています。実がカラカラに乾いたら、皮をむいて種を採取してください。
- 採取した種を **10月30日（金）まで**に、
下記どちらかの窓口にお持ちください。
①環境推進課（朝霞市役所 5 階 55 番） ②朝霞市リサイクルプラザ

注意事項

- できるだけ、日当たりの良い場所で栽培してください。
- 街灯の下など、夜間も明るい場所に置くと、花が咲きません。
人工の光が当たらない場所に置きましょう。

